

2020年度 日本臨床検査医学会 第3回理事会 議事録

日時：2020年10月9日（金）15：00～17：30

開催方法：Zoom 会議

場所：日本臨床検査医学会事務所

出席：村上正巳 理事長、東條尚子副理事長、〆谷直人会計理事、宮地勇人総務理事、山田俊幸庶務理事、古川泰司、前川真人、吉田 博、小柴賢洋、田部陽子、大西宏明、下 正宗、長沢光章、矢富 裕 各理事
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦、柳原克紀 各支部理事
福武勝幸、古田 耕 各監事（23名）

I 理事長挨拶（村上正巳 理事長）

村上正巳理事長から挨拶と、今回の理事会が初めて全員参加であり、WEB開催により達成できたものと思われるというメッセージがあり理事会の議事を進めた。

I 報告事項

1. 支部報告

各支部報告の2019～2020年度の支部例会・総会予定、支部地方会予定、支部所属の人事変更等について報告された。

2. 各種委員会報告

1) 学術推進化委員会（吉田 博 担当理事）

2020年度学術推進化プロジェクト課題について10課題の応募があり2課題が採択されたこと、2019年度のプロジェクト3課題の中間報告がなされたことが報告された。

2) 編集委員会（吉田博 担当理事）

優秀論文賞候補3者を選出し、学会賞委員会に報告したこと、評議員に論文査読を依頼した際、辞退されることが多いため、学会マイページに登録されている専門分野を利用し対応していくこと、発行予定の英文誌のプラットフォームを自動的にdoiが付与されるJ-STAGEとすること、各分野のboard memberの選定を行っていること、医学部学生からの投稿論文を受け付けること、本年開催予定の各支部の例会・総会が中止、延期となり臨床病理誌に掲載される原稿が不足しているため座談会：新型コロナウイルス（仮題）をWEBにて開催予定であること等が報告された。

3) 教育委員会（山田俊幸 担当理事）

5月30日（土）、第76回関東甲信越支部例会に合わせて予定していたRCPCは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止したこと、9月19日（土）、第32回関東甲信越支部総会に合わせて、RCPC（臨床検査領域講習2単位）をWebinerにて開催し130名の参加があったこと、第67回学術集会で委員会企画として、11月21日（土）に、RCPC1、RCPC2（臨床検査領域講習各1単位）、11月22日（日）に、Catch Upセミナー（臨床検査領域講習合計3単位）を企画していること、第67回学術集会で数企画をe-learningとして予定していたが、本学術集会でLIVEとオンデマンドで配信されるため中止し、今後、e-learning用のコンテンツを別途作成することが報告された。

4) 臨床検査点数委員会（古川泰司 委員長）

8月26日に、第1回委員会をWEB開催(Zoom)で行い、今後の活動方針とスケジュールについて討議した。

今年度は、COVID-19対応で内保連の各種会議の遅れにより方針の公開が遅れているため、例年通り、次期診療報酬改定に向けての要望について、評議員へのアンケート、コスト調査などを行ったことが報告された。

5) 学会賞委員会（田部陽子 担当理事）

8月18日（火）にZoomで委員会を開催し受賞候補者を〔学術賞（三枝淳氏、伊藤隆史氏）、検査・技術賞（該当者なし）、若手研究者奨励賞（徳原康哲氏、茂久田翔氏、森田賢史氏、新井慎平氏）〕選出し、また、編集委員会からの推薦を受け、書面会議で優秀論文賞受賞候補者（谷田部陽子氏、大村直子氏、新井慎平氏）を決定し、理事長に報告したことが報告された。

6) 精度管理委員会（山田俊幸 委員長）

CAPサーベイの状況、臨床検査室グローバルニュースは年4回季刊誌として発行していること、病理分野の充実のため必要に応じて病理専門委員を追加すること、日臨技外部精度調査概要、今後の活動について報告された。

7) EBLM 委員会（大西宏明 担当理事）

7月15日に、第2回委員会をオンラインで開催し、11月の第67回学術集会でのシンポジウム「AIの基礎知識と応用事例」の4講演とセミナー発表の内容「臨床検査データを用いた研究を加速させるために ～AIの活用～」について確認したことが報告された。

8) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事，大西宏明 委員長）

7月20日に第1回委員会をオンラインで開催した。第67回学術集会委員会企画、次版ガイドライン2021の発行スケジュール、今後の方向性、質問への対応、転載許可、多くのガイドラインが採用している Minds 記述方式の採用の是非を検討していることが報告された。

理事より、ガイドラインの最後のパニック値、基準範囲について最新のものを載せてほしいと要望がなされた。

9) 臨床検査室医療評価委員会（谷直人 委員長）

11月21日（土）、第67回学術集会（盛岡）において委員会を開催し、今期の目標、活動内容を検討する予定であることが報告された。

10) 遺伝子委員会（宮地勇人 担当理事，前川真人 委員長）

日本病理学会と合同のWGで、「がんゲノム検査全般に関する指針」策定作業を進めていること、ISO/TC 215/SC 1 - Genomics Informatics の規格文書についてコメント聴取と提出を行ったこと、委員会は学術集会中ではなく、別途 Web 開催予定であることが報告された。

11) 医療安全委員会（大西宏明 担当理事，藤井 聡 委員長）

11月21日（土）、第67回学術集会（盛岡）において、委員会企画「医療法改正後の情勢とこれからの臨床検査に必要なこと（仮）」を予定しており、共通講習（医療安全2単位）として申請予定であることが報告された。

12) チーム医療委員会（田部陽子 担当理事）

11月22日（日）、第67回学術集会（盛岡）において委員会企画として「在宅医療における臨床検査専門家の役割」を予定していること、そして、パニック値運用に関する提言を、取り上げる予定であることが報告された。

13) ワークライフバランス委員会（山田俊幸 担当理事，田部陽子 委員長）

1～9月に、臨床検査専門医取得に関するサポートセンターで18件の問い合わせに回答したこと、第32回関東甲信越支部総会でのシンポジウムで委員会活動報告を行ったこと、11月22日（日）、第67回学術集会（盛岡）で、ワークショップとして、第一部RCPC、第二部ミニシンポジウムを企画、実施する予定であることが報告された。

14) 新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（柳原克紀 委員長）

下記提言をまとめ、学会ホームページ、学会誌に掲載したことが報告された。

- ・無症状者に対する SARS-CoV-2 検査での注意点（2020年7月31日）
- ・新型コロナウイルス検査の使い分けの考え方（2020年8月27日）
- ・唾液を用いた PCR や抗原検査における検体採取や検査の注意点（2020年9月8日）

3. 第67回学術集会報告（岩手2020/11/19(木)～11/22(日)、諏訪部章 会長）

2020年11月19日（木）～22日（日）に、諏訪部章会長（岩手医大）のもと、テーマ「人工知能（AI）時代の臨床検査」として、新型コロナウイルス感染防止のため万全な感染対策を施して、アイーナ（いわて県民情報交流センター：盛岡）をメイン会場としてハイブリッド形式で、すべてのプログラムをLIVE配信、後日（12/4～12/18）オンデマンド配信として開催する。事前登録は1ヶ月前から受付予定とした。

AIと臨床検査に関する特別講演、教育講演、シンポジウム、参加体験型AI検査室の設置、特別講演、学会特別企画、教育講演、学会共催シンポジウム、委員会企画等を企画、一般演題は297題で音声付きパワーポイントファイルをホームページに登録すること、その他、ICD講習会、市民公開講座（新型コロナウイルス感染症の対策（仮題））、情報交換会は中止して情報交換会セレモニー（仮題）を30分以内で開催すること等が報告された。

4. 第68回学術集会報告（富山2021/11/11(木)～11/14(日)、北島勲 会長）（山田俊幸 庶務理事）

2021年11月11日（木）～14日（日）に、富山国際会議場、富山市民プラザにおいて、北島勲会長（富山大）ならびに仁井見英樹副会長（富山大）のもと、テーマ「学術的な臨床検査医学のおもしろさを広げよう！」とし

開催予定であり、作成したポスターが提示された。

来秋のため、まだ手探りの状態であるが、現時点、通常対面式とオンデマンドを組み合わせた形式を計画しており、第67回学術集会を参考に特別講演、教育講演、シンポジウム等は学会場で収録しオンデマンドで学術集会終了後も配信する計画である。一般演題はポスター数を増やし、状況により e-poster の導入、また、事前ビデオ収録による口演発表も検討する。

特別講演として田中耕一氏（2002年ノーベル化学賞受賞）「質量分析の臨床検査応用最前線について」、日本医学会連合加盟学会連携フォーラム」は日本血栓止血学会との共催とし、ランチョンセミナーは開催方法を検討中で、懇親会は実施の方向性であることが報告された。

5. 第69回学術集会報告（宇都宮 2022/11/17(木)～11/20(日)、山田俊幸 会長）

2022年11月17日（木）～20日（日）に、栃木県総合文化センター（メイン）、宇都宮東武ホテルグランデ（サブ）において、山田俊幸会長（自治医大）のもと、メインテーマ（案）：「地域社会に貢献する臨床検査」として開催予定であり、25年前に河合忠先生が主催された会場であると報告された。

6. 当会からの派遣委員推薦について（更新）（村上正巳 理事長）

前回、理事会 2020年7月3日以降の当会からの派遣委員等について報告された。

1) 日本医学会連合 領域横断的なロコモ・フレイル対策の推進に向けたワーキンググループ 委員：

2020/9/15に小谷和彦先生を推薦。

2) 日本医療安全調査機構診療行為に関連した死亡の調査分析事業（任期：2020/6/1～2021/5/30）

統括責任者：大西宏明先生

推薦担当者窓口として、北海道：藤井 聡先生、東北：森兼啓太先生、関東：南木 融先生、東海北陸：山田鉄也先生、近畿：三枝 淳先生、中国四国：北中 明先生、九州：長谷川寛雄先生を推薦。

3) 日本腎臓学会 血尿診断ガイドライン改訂委員会委員（任期：2020/10/1～2022/3/31）

菊池春人先生を推薦。

4) 臨床検査振興協議会医療報酬委員会（任期：2020/7/1～2022/6/30）

診療報酬改定小委員会委員：古川泰司先生、東條尚子先生を推薦。

診療報酬制度小委員会委員：山田俊幸先生を推薦。

5) 日本臨床検査標準協議会 ISO/TC212 国内検討委員会（任期：2020/4/21～2023/3/31）

団体委員：村上正巳先生

委員長：宮地勇人先生

WG1 担当委員：宮地勇人先生、古田 耕先生

WG1 担当委員：久保野勝男先生、三浦ひとみ先生

WG2 担当委員：前川真人先生、久保野勝男先生

WG3 担当委員：村上正巳先生、小野佳一先生

WG4 担当委員：宮地勇人先生、古田 耕先生

WG4 担当委員：堀井俊伸先生

WG5 担当委員：大西宏明先生

6) 日本臨床検査同学院 POCT 測定認定士制度審議会 関連団体推薦委員

2019/12/12に小谷和彦先生を推薦

7) 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師制度 委員（任期：2020/6～2022/6）

石井潤一先生、杉本健一先生、本間 博先生、古川泰司先生、横山直之先生

7. 第37回臨床検査専門医認定試験結果について（東田修二 臨床検査専門医認定試験 実行委員長）

9月12日（土）と13日（日）に東京医科歯科大学で、第37回臨床検査専門医認定試験を実施した。新規受験18名、科目再受験2名で試験は大きな問題はなく予定通り終了した。なお、5名がCOVID-19に関する施設事情などにより辞退したが、次回受験を希望しており、受験料は次回試験に適用する。

9月17日（木）に判定会議（第3回試験委員会・試験実行委員会合同会議）を、匿名化した資料を用いてZoom会議で行った。提示された素点を総合成績とし、申し合わせた基準（総平均点60%以上で40点未満の科目なしを総合合格とする）に従い合格判定を行った。

合格基準に達した新規受験者16名と再試験者1名を合格、合格基準に達していない新規受験者2名と再試験者1名を不合格としたことについて審議会で承認されたことが報告された。

2021年度実施の第38回臨床検査専門医認定試験は、日本専門医機構基本領域臨床検査専門医の初回試験でもあり、機構の基準に従った概要により実施することが報告された。

8. 第12回臨床検査管理医認定試験について（山田俊幸 管理医試験実行委員長）

9月13日に東京医科歯科大学において実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り、10月12日（月）0:00～10月25日（日）23:59に、講習・試験とも、eラーニングシステムを利用したオンラインにより実施する。通常予定の講義を音声入りのパワーポイントで提供し、通常開催と同様の試験を課す。視聴は回数制限無し、試験は1回のみ実施可能とした。現時点、応募した35名全員が受講予定であり、可否は審議会の承認を経て、11月中旬頃にホームページに掲載予定であることが報告された。

9. 専門医関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

1) 2021年度専攻医登録については、11月初旬となる予定であるが、カリキュラム制研修については2020年4月に承認された整備基準に基づいて登録、研修がなされるが理由書の提出が必要となる。

2) 日本専門医機構のシーリング対象外で、7年かけて専門医を取得しスタッフとして残り研究を進める臨床研究医コースの募集があったが当領域は応募がなかった。

3) サブスペシャルティ領域新専門医制度について、新制度開始までの手順が、資料として示された。基本領域または機構に基本領域サブスペ領域連絡協議会を設置し、基本領域が関係するサブスペシャルティ領域の専門医制度の検討と調整を行う。サブスペシャルティ領域専門医検討委員会は、サブスペシャルティ領域が主体となり設置されサブスペシャルティ領域専門医の研修の在り方を検討する。臨床検査専門医に占める割合により、3種類のカテゴリーがありそれに該当することが必要であり、サブスペシャルティ領域と合意することになるが、今後、関連するサブスペシャルティ領域、また、基本領域と調整していくことになることが報告された。

10. 日本臨床検査専門医会報告（谷直人 専門医会会長）

5月15日～16日に鹿児島で開催予定の第30回春季大会、8月の振興会セミナーを新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止したこと、11月19日に第67回日本臨床検査医学会学術集会の際の総会、講演会は、現地とオンラインのハイブリッドで開催予定であることが報告された。

11. 日本臨床検査同学院報告（宮地勇人 同学院理事長）

・2020年度の資格認定試験、行事については、新型コロナウイルス感染症拡大状況および緊急事態宣言発出の影響により、下記の通りの対応となった。

1) 1二級・緊急臨床検査士資格認定試験は、2020年の受験予定者を対象として、2021年6月に延期。

2) 一級臨床検査士資格認定試験は、1次筆記試験は9月に実施、2次実技試験は10月に免疫血清学のみ実施。

3) 遺伝子分析科学認定士資格認定試験は、6月予定を10月に研修、11月に試験を実施予定。

4) POCT測定認定士資格認定試験は、公益事業追加認定後、初めての試験実施となり、11月に実施した。

5) 4月～6月予定の実技の講習会は中止、ただし微生物学英語勉強会については、4月以降、考慮しながら実施。

・第36回「緒方富雄賞」は、選考の結果2名が受賞し、贈呈式、記念講演会は、11月に祝賀パーティーは自粛するが学士会館で開催予定。

・第67回日本臨床検査医学会学術集会での共催シンポジウム「病理部門の医療安全」を企画している。

・遺伝子分析科学認定士資格認定試験の公益事業追加に伴い、一般社団法人日本遺伝子分析科学同学院は2020年3月21日に解散、6月19日に清算終了となった。

12. 臨床検査振興協議会報告（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

各種委員会活動報告、法人化の進行状況等が報告された。

13. JACLaS EXPO 2020 展示の中止について（村上正巳 理事長）

日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会（JACLaS）から、9月24-26日（木・土）に予定していたJACLaS EXPO 2020は、一部都道府県で緊急事態宣言に準ずる要請がなされ、医療関係者の派遣が困難、企業においても政府からのテレワーク要請や各社の首都圏への出張制限等により参加が見込めないため開催中止となり、当学会への助成金も見送られたこと、同時開催の日本医療検査科学会第52回大会はオンデマンド開催となったことが報告された。

14. Japan CDC 創設に関する委員会報告（宮地勇人 本委員会委員）

日本医学会連合では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、基礎医学・社会医学・臨床医学などあらゆる視点から有効な感染症対策のあり方に関する検討を進めるためにJapan CDCの創設（仮称）に関する提言をまとめ

るため「Japan CDC 創設に関する委員会（第二次）（仮称）」が創設され、当学会からは、宮地勇人理事を委員として派遣した。

本委員会では、健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言・支援組織（Japan CDC）の創設に関しての提言をまとめるべく協議していることが報告された。

15. その他

特になし。

Ⅲ 審議事項

1. 2020 年度中間事業報告について（山田俊幸 庶務理事）

2020 年度中間の事業報告がなされ、承認された。

2. 2021 年度事業計画案について（山田俊幸 庶務理事）

2021 年度事業計画（案）の説明がなされ、承認された。

3. 2020 年度中間実績報告・2020 年度補正予算案・2021 年度予算案について（谷直人 会計理事、村上正巳 理事長）

2020 年度中間実績は、2021/1/1～2020/6/30 までの実績額での報告である。

2020 年度補正予算案については、JACLaS からの寄付金（1,000 万円）がなくなったこと、持続可給付金（200 万円）の給付を受けたこと、第 66 回学術集会（岡山）から学会への繰入金があったこと、会議等が WEB 開催となったことから交通費、会議費等の経費が少なくなったこと、また、オンライン会議が主体となり機器等の充実が必要であるため事務所備品等の増額を検討し反映した。

2021 年度予算案については、2020 年度を踏襲したが、2021 年度は臨床検査のガイドライン発行があるため、制作費は特別会計から補填することとした。

一般会計の収入と支出の差額によりマイナスとなるため、特別会計から 500 万円補填するようにし合計 1,000 万円の補填となった。

以上が報告され、審議のうえ承認された。

4. 2020・2021 年度臨床検査点数委員会委員 追加について（村上正巳 理事長、古川泰司 本委員会 委員長）

臨床検査点数委員会委員 1 名の追加が提案され承認された。

5. 2021 年度からの名誉会員・功労会員・社員（評議員）の推薦について（村上正巳 理事長）

名誉会員、功労会員、評議員の推薦について、資格要件が確認され、次の通り、名誉会員、功労会員、評議員として承認された。

1) 名誉会員として高木康先生

2) 功労会員として関東・甲信越支部から小方則夫先生、菊池春人先生、柴田綾子先生、信岡祐彦先生、本田孝行先生の 5 名、東海・北陸支部から中谷中先生、中村栄男先生の 2 名、近畿支部から太田善夫先生、藤本眞一先生、松尾収二先生、宮野章先生の 4 名、九州支部から岡山昭彦先生、松永彰先生の 2 名、合計 13 名。

3) 評議員として、東北支部から張替秀郎先生、藤原亨先生の 2 名、関東・甲信越支部から荒木修先生、小野佳一先生、西川真子先生、松田将門先生、森山雅人先生、横山直之先生の 6 名、東海・北陸支部から岩泉守哉先生、原田健右先生の 2 名、近畿支部から神田晃先生、中前美佳先生の 2 名、合計 12 名。

6. 第 70 回学術集会（2023 年）会長の推薦について（村上正巳 理事長）

学術集会企画委員会から推薦いただく候補支部として 1 位の九州支部から柳原克紀先生（長崎大）が推薦され、承認された。

7. 評議員（社員）再任予定者（2021/01/01 付）について（村上正巳 理事長）

2021 年 1 月 1 日付評議員再任予定者 48 名が提示された。再任手続きは、2020 年 12 月 26 日開催予定の評議員審査委員会での審査、審議会後となるが、評議員再任には社員総会の承認が必要のため、本理事会、2020 年 11 月 19 日の臨時社員総会の承認を得ておきたい。ただし、再任の単位を満たさない場合は退任となることを前提のうえ、2021 年 1 月 1 日付の評議員再任予定者 48 名について承認された。

8. Web 会議内規（案）、ホストマニュアル（案）、日当について（村上正巳 理事長、東條尚子 副理事長）

第 2 回理事会で提案されていた Web 会議用内規（案）について、会議成立の記載も必要という指摘があり、再検討した内規案が提示された。しかし、実際の Web 会議との齟齬がある事項があるため、再検討することとなった。なお、Web 会議での日当は支給しないことが提案され、承認された。

9. 持ち回り理事会について（村上正巳 理事長）

メールによる持ち回り理事会実施について頻度が多いため、オンラインで短時間、臨時理事会を開催して審議する提案があり、承認された。

10. 第 31 回 World Congress of WASPaLM (2021/11/25-28, ウルグアイ) について（村上正巳 理事長）

第 31 回 World Congress of WASPaLM からシンポジウムの企画依頼があり、韓国と共同で検討することで承認された。

11. 2021 年度各契約更新について（村上正巳 理事長）

2021 年度、次項の契約更新について確認のうえ承認された。

- ・顧問（弁護士：古川俊治先生、会計：野澤孝志先生）
- ・臨床病理編集製作：宇宙堂八木書店
- ・事務委託：宇宙堂八木書店
- ・外部販売：克誠堂出版
- ・広告募集：日本廣業社、福田商店広告部、学術広告社

12. その他（山田俊幸 庶務理事）

2021 年度理事会、定時社員総会予定が報告された。

- ・2021 年度第 1 回理事会、定時社員総会：2020/3/27（土）

IV 閉会の挨拶（東條尚子 副理事長）

東條尚子副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

2021 年 1 月 20 日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 村上正巳

副理事長 東條尚子

監事 福武勝幸

監事 古田 耕